

FIRST 田中ms3dプロジェクト 成果発表会のご案内

ms³d
FIRST Program

日時： 2013年9月11日(水) 8:00 – 9:00
会場： つくば国際会議場 中ホール200(2階)
入場： 無料

備考：整理券はございません。直接会場にご入場ください。軽食をご用意いたしますが、数に限りがありますので、ご了承ください。

最先端研究開発支援プログラム(FIRSTプログラム)「次世代質量分析システム開発と創薬・診断への貢献」プロジェクト(中心研究者:田中耕一)における成果概要と、当プロジェクトで開発したソフトMass++(種々の質量分析装置から得られたデータを解析できるフリーソフト)について報告します。
また、Mass++と連携したデータベースMassBankについて紹介します。

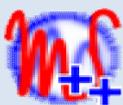


■ 第1講演

医療への貢献を目指す次世代質量分析システム

島津製作所 田中最先端研究所 所長 田中 耕一

FIRSTプログラム 30テーマの1つ「次世代質量分析システム開発と創薬・診断への貢献」通称“ms3d”プロは、これまでMSシステム(前処理・イオン化・ハード・ソフト)全ての開発を手がけ、1万倍の高性能化を達成した。特に疾患診断への貢献に関して報告する。



■ 第2講演

質量分析用解析ソフトウェアMass++とFIRST ms3dにおける活用成果

島津製作所 田中最先端研究所 主任研究員 宇都宮 眞一

Mass++はプラグイン構造を持ち機能拡張性に優れる質量分析用解析ソフトウェアである。FIRST 田中ms3dプロジェクトではこれを開発プラットフォームとして用い各種ソフトウェア機能の開発を行った。またMass++を一般公開して一般ユーザにフリーウェアとして提供し、プロジェクトの開発成果についても同ソフトウェアを通じて一般公開した。これらについて報告する。



■ 第3講演

メタボロミクス研究におけるMassBankの高度な利用法の開発

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 特任教授 西岡 孝明

MassBankはマススペクトルを研究者社会で共有するためのレポジトリである。FIRST 田中ms3dプロジェクトと協力して、MassBank レコードの半自動作成をはじめ、LC-MS/MSデータのMassBank一括検索、MassBankからdownloadしたデータで構築したin-house MassBankの利用などを実現した。このようにMassBankの高度な利用例を紹介する。

主催：最先端研究開発支援プログラム(FIRST) 田中ms3dプロジェクト <http://www.first-ms3d.jp/>
協賛：日本質量分析学会 <http://www.mssj.jp/index.html>
連絡先：FIRST田中ms3dプロジェクト支援室 tanaka-pj@first-ms3d.jp

本成果発表会は、総合科学技術会議により制度設計されたFIRSTプログラムにより、日本学術振興会を通して助成されたものです。